



2021年5月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年7月13日

上場会社名 株式会社アイケイ
 コード番号 2722 URL <https://www.ai-kei.co.jp>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 飯田 裕

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理統括 (氏名) 高橋 伸宜

TEL 052-856-3101

定時株主総会開催予定日 2021年8月19日

配当支払開始予定日

2021年8月20日

有価証券報告書提出予定日 2021年8月20日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年5月期の連結業績(2020年6月1日～2021年5月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期	20,754	12.3	705	19.4	730	17.1	321	△16.3
2020年5月期	18,483	4.9	590	36.9	623	42.5	384	61.3

(注) 包括利益 2021年5月期 316百万円 (△19.5%) 2020年5月期 393百万円 (64.3%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年5月期	42.60	42.28	10.1	10.0	3.4
2020年5月期	52.19	51.94	14.0	8.8	3.2

(参考) 持分法投資損益 2021年5月期 ー百万円 2020年5月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年5月期	7,226	3,557	49.0	451.96
2020年5月期	7,369	2,809	38.0	385.34

(参考) 自己資本 2021年5月期 3,543百万円 2020年5月期 2,797百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年5月期	636	△220	△258	967
2020年5月期	712	△374	△139	802

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年5月期	—	0.00	—	12.00	12.00	87	23.0	3.2
2021年5月期	—	0.00	—	12.00	12.00	94	28.2	2.9
2022年5月期(予想)	—	0.00	—	12.00	12.00		17.1	

3. 2022年5月期の連結業績予想(2021年6月1日～2022年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,400	△6.2	390	△27.0	380	△28.8	230	△28.8	29.34
通期	22,000	6.0	880	24.8	870	19.2	550	71.3	70.15

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年5月期	8,308,000 株	2020年5月期	7,808,000 株
② 期末自己株式数	2021年5月期	467,576 株	2020年5月期	549,100 株
③ 期中平均株式数	2021年5月期	7,542,297 株	2020年5月期	7,359,385 株

(参考)個別業績の概要

2021年5月期の個別業績(2020年6月1日～2021年5月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期	11,934	△0.9	328	88.3	323	34.4	146	△2.2
2020年5月期	12,043	△9.1	174	△58.9	240	△48.3	150	△46.9

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年5月期	19.47	19.32
2020年5月期	20.41	20.30

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年5月期	6,055	2,933	48.3	372.72
2020年5月期	6,199	2,356	37.9	323.93

(参考) 自己資本 2021年5月期 2,922百万円 2020年5月期 2,351百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想数値及び将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、経営環境の変化等により、本資料の予想数値又は将来に関する記述と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、前連結会計年度から続いております新型コロナウイルス感染症による拡大の波が第2波、第3波、第4波と立て続けに現れ、政府によるまん延防止等重点措置や再度の緊急事態宣言が発出されるなか、行政の要請に基づく外出自粛、大規模商業施設の臨時休業や営業時間の短縮などにより、個人消費や企業活動が大きく制限され景気失速傾向が強まり、先行き不透明な状況が依然として続いております。

このような環境の下、当社グループはリーディングカンパニーの最大条件を「ファンの方の多さ」と定義づけ、経営理念であります「ファンづくり」の実現化を実践してまいりました。

BtoC事業では、テレビショッピングにおいて2020年度新作版の「スピードヒート温熱ベスト」や「ステップエイト(場所に合わせて8通りに変化する脚立)」、「エアークッション(自動で膨らむベッド)」等が売上を牽引いたしました。実店舗のSKINFOOD店舗においては、新型コロナウイルス感染症拡大により、行政の要請に基づく外出自粛、大規模商業施設の臨時休業や営業時間の短縮などにより、来店客数が減少し厳しい状況が続いております。当連結会計年度におけるSKINFOOD店舗の直営店の新規開設はなく、閉店は4店舗となりその店舗数は18店舗(前期22店舗)、フランチャイズ店は3店舗開設し1店舗を閉店したことから5店舗(前期3店舗)となり、合計では23店舗(前期25店舗)となりました。

BtoBtoC事業では、マーケティングメーカーとして確固たる基盤を築くため、売上高に占める自社開発商品比率を高め、商品開発に注力してまいりました。販売ルート別の売上高では、生協ルート及び通販ルートは前期実績を上回りましたものの、店舗ルート、海外ルートはコロナ禍の影響もあり前期実績を下回りました。

その他では、チャットシステム「M-Talk」の売上高拡大を図るため営業強化に注力してまいりましたほか、音声通話録音システム「Voistore」の販売にも注力してまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高207億54百万円(前期比12.3%増)、営業利益7億5百万円(前期比19.4%増)、経常利益7億30百万円(前期比17.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益3億21百万円(前期比16.3%減)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。(売上は外部顧客への売上高を記載しております。)

・ BtoC事業

売上高は、「SKINFOOD」店舗においては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外出自粛や店舗の臨時休業、営業時間の短縮などにより厳しい状況で推移いたしましたものの、テレビショッピングにおいては、2020年度新作版の「スピードヒート温熱ベスト」や「ステップエイト(場所に合わせて8通りに変化する脚立)」、「エアークッション(自動で膨らむベッド)」等がヒット商品となりましたことから、84億67百万円(前年同期比27.2%増)となり、営業利益は2億98百万円(前年同期比17.0%減)となりました。

・ BtoBtoC事業

売上高は、特に店舗ルートにおいて、新型コロナウイルス感染症予防対策としてマスクの着用が定着しておりますことからメイク化粧品の売上が落ち込みました一方、生協ルート及び通販ルートで食品類の売上が大きく増収いたしましたことから118億85百万円(前年同期比3.0%増)となり、営業利益は3億24百万円(前年同期比83.3%増)となりました。

・ その他

売上高は、チャットシステム「M-Talk」の拡販営業により売上が拡大していることから、4億2百万円(前年同期比40.0%増)となり、営業利益は52百万円(前年同期は3百万円の営業利益)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の流動資産につきましては前連結会計年度末に比べ38百万円減少しました。主な流動資産の変動は、「現金及び預金」が130百万円、「商品及び製品」が93百万円それぞれ増加したこと、「受取手形及び売掛金」が376百万円減少したことによります。

当連結会計年度末の固定資産につきましては前連結会計年度末に比べ104百万円減少しました。主な固定資産の変動は、「有形固定資産」が18百万円、「無形固定資産」が6百万円、「投資その他の資産」が79百万円それぞれ減少したことによります。

この結果、当連結会計年度末の総資産は7,226百万円となり、前連結会計年度末と比べ142百万円減少しました。(負債)

当連結会計年度末の流動負債につきましては前連結会計年度末に比べ468百万円減少しました。主な流動負債の変動は、「買掛金」が147百万円、「1年以内返済予定の長期借入金」が199百万円、「未払金」が88百万円それぞれ減少したことによります。

当連結会計年度末の固定負債につきましては前連結会計年度末に比べ422百万円減少しました。主な固定負債の変動は、「長期借入金」が437百万円減少したことによります。

この結果、当連結会計年度末の負債は3,669百万円となり、前連結会計年度末と比べ890百万円減少しました。(純資産)

当連結会計年度末の純資産につきましては前連結会計年度末に比べ747百万円増加しました。主な純資産の変動は、新株発行により「資本金」及び「資本剰余金」がそれぞれ219百万円増加したこと並びに、当期純利益の計上により「利益剰余金」が234百万円増加したことによります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、967百万円（前年同期は802百万円）となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動における資金の増加は636百万円（前年同期は712百万円の増加）であります。主な資金の増加要因は、税金等調整前当期純利益557百万円、減価償却費226百万円、売上債権の減少376百万円であります。また主な資金の減少要因は、仕入債務の減少147百万円、たな卸資産の増加95百万円となっております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動における資金の減少は220百万円（前年同期は374百万円の減少）であります。主な資金の減少要因は、有形固定資産の取得による支出231百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動における資金の減少は258百万円（前年同期は139百万円の減少）であります。主な資金の増加要因は、新株発行による収入438百万円、長期借入による収入150百万円であります。また主な資金の減少要因は、長期借入金の返済による支出787百万円、配当金の支払額85百万円であります。

(4) 今後の見通し

今後の経済動向は、新型コロナウイルスワクチンの接種が徐々に進んでおりますが、新たな変異株の発生も懸念され、収束時期が見通せない状況で推移するものと思われま。

当社グループは、このような環境下の中、本日公表いたしました中期経営計画「IK Way to 2024」の達成を目指し、収益基盤であります生協及び通販販路の確実な深耕開拓と、重点投資を行っていくTVショッピング販路及びECショッピング販路での収益拡大を図ってまいります。

次期の通期連結業績予想は、売上高220億円、営業利益8億80百万円、経常利益8億70百万円、親会社株主に帰属する当期純利益5億50百万円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、IFRS(国際財務報告基準)の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応をしていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当連結会計年度 (2021年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	670,610	800,795
受取手形及び売掛金	3,176,295	2,800,073
有価証券	132,270	166,350
商品及び製品	1,835,551	1,928,944
原材料及び貯蔵品	16,836	18,702
その他	438,631	516,978
貸倒引当金	△1,269	△1,493
流動資産合計	6,268,927	6,230,351
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	345,443	295,225
減価償却累計額	△168,308	△170,580
建物及び構築物 (純額)	177,134	124,644
土地	80,216	80,216
その他	384,859	552,705
減価償却累計額	△261,674	△395,678
その他 (純額)	123,185	157,026
有形固定資産合計	380,536	361,888
無形固定資産		
のれん	55,000	43,000
その他	108,722	114,538
無形固定資産合計	163,722	157,538
投資その他の資産		
投資有価証券	91,252	63,500
長期貸付金	142,881	104,410
繰延税金資産	116,071	110,443
差入保証金	169,932	150,511
その他	47,996	58,405
貸倒引当金	△12,123	△10,564
投資その他の資産合計	556,011	476,707
固定資産合計	1,100,271	996,134
資産合計	7,369,198	7,226,486

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当連結会計年度 (2021年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,154,701	1,007,075
短期借入金	40,000	—
1年内返済予定の長期借入金	769,960	570,558
未払金	632,635	544,234
未払法人税等	167,543	144,343
賞与引当金	43,465	33,999
返品調整引当金	26,833	56,093
顧客補償等対応費用引当金	—	17,447
課徴金引当金	—	47,263
その他	247,332	192,984
流動負債合計	3,082,472	2,614,001
固定負債		
長期借入金	1,175,519	737,880
退職給付に係る負債	124,750	143,273
その他	176,825	173,855
固定負債合計	1,477,094	1,055,009
負債合計	4,559,566	3,669,010
純資産の部		
株主資本		
資本金	401,749	620,949
資本剰余金	409,800	674,845
利益剰余金	2,166,201	2,400,412
自己株式	△184,275	△156,964
株主資本合計	2,793,476	3,539,242
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,127	4,784
為替換算調整勘定	△1,468	△444
その他の包括利益累計額合計	3,659	4,340
新株予約権	4,849	11,315
非支配株主持分	7,645	2,577
純資産合計	2,809,631	3,557,475
負債純資産合計	7,369,198	7,226,486

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)	当連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)
売上高	18,483,995	20,754,610
売上原価	9,581,530	10,111,586
売上総利益	8,902,464	10,643,023
返品調整引当金繰入額	26,833	56,093
返品調整引当金戻入額	23,070	26,833
差引売上総利益	8,898,701	10,613,763
販売費及び一般管理費	8,307,787	9,908,213
営業利益	590,914	705,549
営業外収益		
受取利息	2,521	1,416
受取配当金	1,920	1,113
受取手数料	2,424	1,078
受取家賃	1,080	1,080
助成金収入	32,863	20,678
為替差益	—	8,906
投資有価証券売却益	—	2,200
消耗品売却収入	—	4,298
その他	3,154	1,793
営業外収益合計	43,964	42,564
営業外費用		
支払利息	8,074	8,028
為替差損	2,988	—
退店違約金	—	2,773
株式交付費	—	6,683
その他	65	9
営業外費用合計	11,127	17,494
経常利益	623,750	730,620
特別利益		
抱合せ株式消滅差益	711	—
特別利益合計	711	—
特別損失		
固定資産除却損	10,440	8,313
減損損失	30,818	58,686
顧客補償等対応費用	—	41,785
顧客補償等対応費用引当金繰入額	—	17,447
課徴金引当金繰入額	—	47,263
特別損失合計	41,258	173,496
税金等調整前当期純利益	583,204	557,123
法人税、住民税及び事業税	237,395	235,858
法人税等調整額	△44,788	5,779
法人税等合計	192,607	241,637
当期純利益	390,597	315,485
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	6,532	△5,832
親会社株主に帰属する当期純利益	384,064	321,317

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)	当連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)
当期純利益	390,597	315,485
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,147	△343
為替換算調整勘定	△252	1,787
その他の包括利益合計	2,894	1,444
包括利益	393,491	316,930
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	387,043	321,998
非支配株主に係る包括利益	6,448	△5,067

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	401,749	404,089	1,917,233	△36,233	2,686,838
当期変動額					
剰余金の配当			△89,725		△89,725
親会社株主に帰属する当期純利益			384,064		384,064
自己株式の取得				△149,968	△149,968
自己株式の処分		5,711		1,927	7,638
連結範囲の変動			△45,370		△45,370
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	5,711	248,968	△148,041	106,638
当期末残高	401,749	409,800	2,166,201	△184,275	2,793,476

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利 益累計額合計			
当期首残高	1,980	—	1,980	—	—	2,688,819
当期変動額						
剰余金の配当						△89,725
親会社株主に帰属する当期純利益						384,064
自己株式の取得						△149,968
自己株式の処分						7,638
連結範囲の変動						△45,370
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	3,147	△1,468	1,678	4,849	7,645	14,174
当期変動額合計	3,147	△1,468	1,678	4,849	7,645	120,812
当期末残高	5,127	△1,468	3,659	4,849	7,645	2,809,631

当連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	401,749	409,800	2,166,201	△184,275	2,793,476
当期変動額					
新株の発行	219,200	219,200			438,400
剰余金の配当			△87,106		△87,106
親会社株主に帰属する当期純利益			321,317		321,317
自己株式の取得				△82	△82
自己株式の処分		45,844		27,393	73,237
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	219,200	265,044	234,210	27,310	745,766
当期末残高	620,949	674,845	2,400,412	△156,964	3,539,242

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利 益累計額合計			
当期首残高	5,127	△1,468	3,659	4,849	7,645	2,809,631
当期変動額						
新株の発行						438,400
剰余金の配当						△87,106
親会社株主に帰属する当期純利益						321,317
自己株式の取得						△82
自己株式の処分						73,237
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△343	1,023	680	6,466	△5,068	2,078
当期変動額合計	△343	1,023	680	6,466	△5,068	747,844
当期末残高	4,784	△444	4,340	11,315	2,577	3,557,475

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)	当連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	583,204	557,123
減価償却費	199,184	226,975
減損損失	30,818	58,686
のれん償却額	5,762	12,000
株式報酬費用	10,411	13,783
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4,446	△1,335
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4,396	△9,465
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	15,004	18,523
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△142,700	—
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	3,763	29,260
顧客補償等対応費用引当金の増減額 (△は減少)	—	17,447
課徴金引当金の増減額 (△は減少)	—	47,263
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	△2,200
受取利息及び受取配当金	△4,442	△2,529
支払利息	8,074	8,028
株式交付費	—	6,683
助成金収入	—	△20,678
為替差損益 (△は益)	2,656	△5,432
固定資産除却損	10,440	8,313
抱合せ株式消滅差損益 (△は益)	△711	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△418,266	376,222
たな卸資産の増減額 (△は増加)	243,143	△95,258
仕入債務の増減額 (△は減少)	65,694	△147,626
未収消費税等の増減額 (△は増加)	53,331	△34,377
未払消費税等の増減額 (△は減少)	76,574	△45,390
未払金の増減額 (△は減少)	40,688	△82,369
その他の資産の増減額 (△は増加)	△145,315	△61,860
その他の負債の増減額 (△は減少)	180,833	△8,319
その他	△194	—
小計	817,904	863,468
利息及び配当金の受取額	4,187	2,465
利息の支払額	△8,232	△7,834
助成金の受取額	—	40,816
法人税等の支払額	△172,304	△263,964
法人税等の還付額	71,272	1,590
営業活動によるキャッシュ・フロー	712,827	636,542
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△210,422	△231,347
無形固定資産の取得による支出	△36,988	△52,976
投資有価証券の売却による収入	—	29,457
貸付けによる支出	△64,300	△500
貸付金の回収による収入	8,071	29,435
差入保証金の差入による支出	△10,624	△295
差入保証金の回収による収入	15,485	5,436
事業譲受による支出	△80,338	—
その他	5,000	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△374,117	△220,789

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)	当連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△560,000	△40,000
長期借入れによる収入	1,250,000	150,000
長期借入金の返済による支出	△591,052	△787,040
株式の発行による収入	—	438,400
配当金の支払額	△88,390	△85,745
自己株式の処分による収入	—	65,760
自己株式の取得による支出	△149,968	△82
その他	△457	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△139,868	△258,707
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,909	7,220
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	195,931	164,265
現金及び現金同等物の期首残高	542,126	802,880
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	51,510	—
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	13,311	—
現金及び現金同等物の期末残高	802,880	967,145

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

「BtoC事業」・・・TVショッピング、インターネットショッピング、有店舗でのSKINFOOD化粧品販売等の小売事業

「BtoBtoC事業」・・・生活協同組合、通信販売会社、小売店舗、海外パートナー企業等への卸売事業

「その他」・・・チャットシステム、音声通話録音システムの販売等

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計処理基準に基づく金額により記載しております。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高又は振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1, 2	連結 財務諸表 計上額 (注)3
	BtoC 事業	BtoBtoC 事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,656,854	11,539,973	287,167	18,483,995	—	18,483,995
セグメント間の内部売上高又は振替高	272,325	463,378	—	735,703	△735,703	—
計	6,929,180	12,003,351	287,167	19,219,699	△735,703	18,483,995
セグメント利益	359,853	176,906	3,326	540,085	50,828	590,914
セグメント資産	1,963,096	6,150,138	82,773	8,196,007	△826,809	7,369,198
その他の項目						
減価償却費	131,945	66,371	867	199,184	—	199,184
のれん償却額	—	5,762	—	5,762	—	5,762
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	194,932	52,830	845	248,608	—	248,608

(注) 1. セグメント利益の調整額50,828千円は、連結消去に伴う調整額であります。

2. セグメント資産の調整額△826,809千円は、セグメント間債権債務の消去額であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1, 2	連結 財務諸表 計上額 (注)3
	BtoC 事業	BtoBtoC 事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,467,071	11,885,422	402,115	20,754,610	—	20,754,610
セグメント間の内部売上高又は振替高	370,895	197,222	2,670	570,787	△570,787	—
計	8,837,967	12,082,644	404,785	21,325,397	△570,787	20,754,610
セグメント利益	298,777	324,244	52,314	675,336	30,213	705,549
セグメント資産	1,846,540	6,060,105	139,950	8,046,597	△820,110	7,226,486
その他の項目						
減価償却費	158,983	66,885	1,164	227,032	△57	226,975
のれん償却額	—	12,000	—	12,000	—	12,000
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	194,792	76,700	1,697	273,190	△690	272,500

(注) 1. セグメント利益の調整額30,213千円は、連結消去に伴う調整額であります。

2. セグメント資産の調整額△820,110千円は、セグメント間債権債務の消去額であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)

(単位：千円)

	BtoC事業	BtoBtoC 事業	その他	全社・消去	合計
減損損失	25,481	5,337	—	—	30,818

当連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)

(単位：千円)

	BtoC事業	BtoBtoC 事業	その他	全社・消去	合計
減損損失	58,686	—	—	—	58,686

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)

(単位：千円)

	BtoC事業	BtoBtoC 事業	その他	全社・消去	合計
当期償却額	—	5,762	—	—	5,762
当期末残高	—	55,000	—	—	55,000

(注) BtoBtoC事業において、のれんの減損損失5,337千円を、計上しております。

当連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)

(単位：千円)

	BtoC事業	BtoBtoC 事業	その他	全社・消去	合計
当期償却額	—	12,000	—	—	12,000
当期末残高	—	43,000	—	—	43,000

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)	当連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)
1株当たり純資産額 (円)	385.34	451.96
1株当たり当期純利益金額 (円)	52.19	42.60
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額 (円)	51.94	42.28

(注) 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年6月1日 至 2020年5月31日)	当連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)
(1) 1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額 (千円)	384,064	321,317
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額 (千円)	384,064	321,317
普通株式の期中平均株式数 (株)	7,359,385	7,542,297
(2) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (千円)	—	—
普通株式増加数 (株)	35,218	56,823
(うち新株予約権 (株))	(35,218)	(56,823)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。